

記者配布資料

平成23年7月11日

部 課 名	課長名	班長名	担当職・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	輪 茂之	母子健・感染症班 弘田 隆彦	班 宮下 洋	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、 萩、首都圏			

百日咳の集団発生について

萩市立田方川中学校において、下記のとおり百日咳の集団発生がありましたのでお知らせします。

記

1 概要

- (1) 発病月日 6月23日(木)～7月11日(月)
 (2) 患者数 8名(生徒8名)(その他、咳症状を有する者31名)
 (3) 症状 咳、嘔吐(入院者1名;重症者なし)

2 学校の対応

7月12日(火)～7月15日(金)まで臨時休業(休校)するとともに、有症者に対して受診指導を実施している。

3 健康福祉センターの対応

萩健康福祉センターが、学校等に対して衛生指導を行った。

4 県民への呼びかけ

百日咳は、下関地域や周南地域でも散発しています。ついては、感染予防のため以下のごことに注意しましょう。

- ①咳が出る方は咳エチケットを行いましょう。
 ②咳が長引くと感じたら百日咳を念頭に早めに医療機関を受診してください。
 ③三種混合ワクチン(DPT)の対象者で、まだ、接種をしてないお子さんは、早めに接種を行ってください。

【参考】

百日咳とは

- ・感染経路は飛沫(咳やくしゃみのしぶきに含まれる菌を吸い込むことによる)感染。
- ・潜伏期間は、6日間から21日間。春から夏にかけて流行します。
- ・咳、くしゃみなど、軽い風邪のような症状で始まり、次第に咳の回数が増え激しく咳き込むようになります。
- ・息を吸い込むときに笛を吹くような「ヒュー」という音が出る咳や、激しいけいれん性の咳が特徴です。
- ・発症して2～3ヶ月程度で回復するが、乳幼児は重症化しやすく、合併症として肺炎の他に脳症を起こすこともあります。
- ・過去に受けたワクチンの効果が低下していることから、成人の患者が増加傾向にあります。
- ・成人の場合は、咳が長い間続くものの特徴的なけいれん性の咳がなく、百日咳とわからないことも多くあります。そのままにしておくとワクチン未接種の乳幼児に感染させることがあるので注意が必要です。

山口県感染症情報センターHP : <http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/iyoho/page5-7/page6-7-2.html>